

サービス

ESRIジャパンでは、ユーザーのGISに対する費用対効果を最大化するため、プロフェッショナルによるさまざまなGIS導入・活用支援サービスを提供しています。これらのサービスは、世界最大のGISユーザーコミュニティにより実証された成功ノウハウに基づいて設計されており、GISユーザーを成功に導きます。

製品サポート サービス

製品サポート サービスは、ユーザーがArcGISを効率的かつ継続的に有効活用するための最新ソフトウェア、機能拡張ツール、パッチ、Q&AサポートおよびFAQ等を提供するサービスです。導入初年度の製品サポートは製品価格に含まれており、次年度以降からは製品サポート契約を更新することで製品サポートを継続することができます。



トレーニング サービス

トレーニング サービスでは、ArcGISの使い方を短期間で習得するためのさまざまなコースメニューを取り揃えています。また、トレーニング会場に来場することが困難なユーザー向けに、リモートライブトレーニングやオンサイトトレーニングさらに内容や日程をユーザーの要望に沿った形で開催するカスタムトレーニングの提供など、幅広いニーズに対応します。



開発者サポート サービス

開発者サポート サービスは、GISソフトウェアをエンジンとした業務アプリケーションの開発を支援するサービスです。開発者サポートではヘルプに記載されている内容相当の解説、サポートページより提供されているFAQ/サンプルコードの紹介、各API/SDKに関する質問に対して専門スタッフがインシデント単位で回答します。



コンサルティング サービス

コンサルティング サービスは、GISを導入するユーザーやパートナーなどの業務をプロフェッショナルが支援するサービスです。戦略立案、計画、設計、開発、導入、運用などの各フェーズにおいて、ソフトウェアに関する専門知識と豊富な経験に基づくコンサルティングを提供し、GISの導入を成功に導きます。



ArcGIS Enterprise

サーバー GIS



ESRIジャパン株式会社

本社 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 Tel: 03-3222-3941 Fax: 03-3222-3946
 札幌オフィス 〒060-0004 北海道札幌市中央区北 4 条西 4-1-1 Tel: 011-806-0031 Fax: 011-806-0032
 名古屋オフィス 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-5-10 Tel: 052-959-2170 Fax: 052-959-2171
 大阪オフィス 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-14 Tel: 06-4807-7015 Fax: 06-4807-7033
 福岡オフィス 〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町 10-1 Tel: 092-686-9200 Fax: 092-686-9201

www.esri.jp e-mail: gisinfo@esri.jp

お問い合わせ

Copyright © 2019 Esri Japan Corporation. All rights reserved.
 本カタログに記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。
 記載事項は 2019 年 5 月のものです。記載された内容は、予告なく変更されることがあります。 BJ1070-04-01-1905
 2019 年 5 月



2019 年 5 月



ArcGIS Enterprise

地理空間情報の利活用を促進するエンタープライズ GIS サーバー

あらゆる環境、場面で ArcGIS を

ArcGIS Enterprise は、オンプレミス/クラウド問わず、地図配信、分析、データの利活用アプリケーションなど WebGIS に必要な共有基盤を提供します。

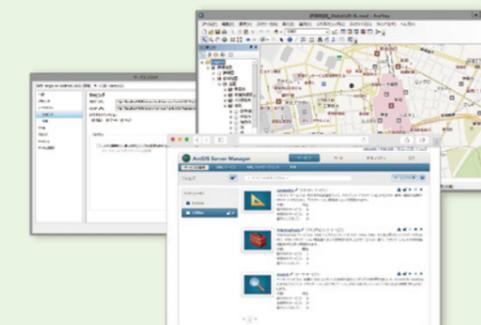
ArcGIS Enterprise は、組織内の誰もが GIS の機能を利用できる基盤を提供し、組織内にあるさまざまな場面で利用しているデータを GIS で有効活用できるよう状態を提供することで、ビジネスに位置情報という新たな側面を展開することで業務の改善を実現を支援します。



4つの特長

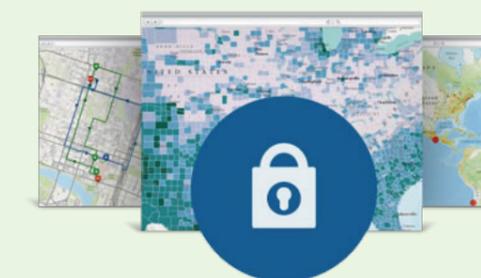
1 簡単な操作

- ArcGIS Enterprise の多くの基本操作は、GUI ベースのツールを使用して簡単に操作することができます。
- ArcGIS Pro や Web ブラウザーから簡単に GIS データや Web サービスを作成・共有することができます。
- Web ブラウザーで GIS データやサービスを簡単に管理。
- 構成可能なテンプレートを使用し、開発せずに Web アプリケーションを作成できます。



2 IT システムとの統合

- ArcGIS Enterprise で公開する Web サービスは、オープンな Web インターフェースを提供します。各種 IT 標準 (REST, SOAP) や GIS 標準 (各種 OGC 標準) に対応します。
- 各種データベースのデータを他の空間データと連携して活用できます。
- Active Directory や LDAP, OAuth, SAML を使用したユーザー認証に対応しています。



3 効率的な GIS システム開発

- 製品標準で利用できる豊富な GIS 機能の他、ジオプロセシング ツールなどを使用したカスタムの分析処理など効率的な開発が可能です。
- ArcGIS が提供する豊富なアプリや、プログラミングせずに構成可能なアプリケーションテンプレートを利用できます。
- ArcGIS for Developers で利用可能な API/SDK を利用し、Web、スマートフォン、タブレット、デスクトップアプリの効率的な開発が可能です。



4 柔軟なシステム構築

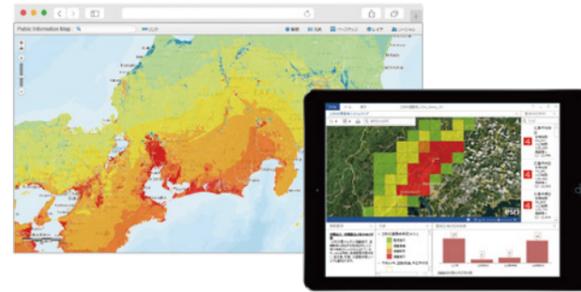
- 一台構成から複数台による分散構成、冗長構成など要求に応じて柔軟なシステム構築が可能です。
- 少人数でデータベースに格納されたデータを共有するための C/S システムから、大規模で高度なエンタープライズ GIS システムまで対応できます。



主な機能

GIS 機能を提供する Web サービス

ArcGIS で作成した高品質なマップを共有するだけでなく、Web ブラウザーやスマートフォンからのデータ編集（オフライン対応）や、住所検索、ネットワーク解析など豊富な機能を Web サービスとして共有できます。



強力な分析機能

ArcGIS Desktop でも利用可能なジオプロセッシング ツールを利用して、ArcGIS の強力な空間解析機能を Web サービスとして共有できます。また、エクステンション製品を利用することでラスター データの空間モデリングと分析、ネットワーク解析、可視領域、断面図解析など、より高度な解析機能を実現します。

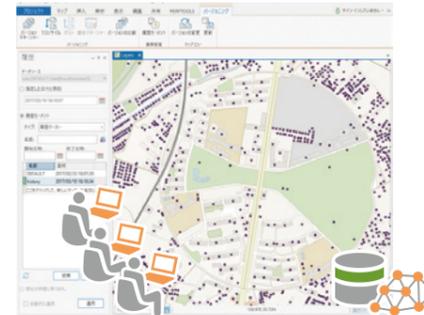


RDBMS との連携

ArcGIS Enterprise では、以下の RDBMS の空間データを使用できます。

- ・ Microsoft SQL Server
- ・ Oracle
- ・ IBM Db2
- ・ PostgreSQL

ArcGIS Enterprise では、さらに RDBMS 上にジオデータベースを構築できます。マルチユーザー ジオデータベースを使用してトポロジやジオメトリック ネットワークなどのデータモデルや複数ユーザーによる編集が可能となります。



地理情報を管理・共有できる GIS コラボレーション システム

Portal for ArcGISは、組織内で GIS データを共有、検索、活用するためのポータル機能を提供し、ユーザー権限などを設定することで、適切に管理することができます。また、現地調査用アプリやダッシュボードなど利用用途に応じたさまざまなアプリケーションを利用可能です。



3D サービス

Portal for ArcGIS を使用することで、ArcGIS Pro で作成した 3D GIS コンテンツ（シーン サービス）を Web サービスとして公開することができます。

Portal for ArcGIS には、シーン サービスを閲覧するためのシーン ビューアーが標準で提供されています。公開された 3D の Web サービスは、追加ソフトウェアを必要とせずに Web ブラウザーから閲覧することができます。



画像配信・解析

ArcGIS Image Server を使用することで、大量の画像を分散処理で解析したり、ラスター データの管理、共有、解析を一貫して行えるアプリなどを利用することができるとともに、AI や GPU を活用した画像解析も可能です。



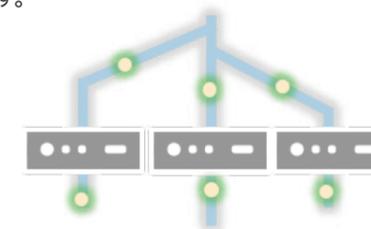
リアルタイム GIS

ArcGIS GeoEvent Server を使用することで、リアルタイム データ ストリームをエンタープライズ GIS に統合することができます。最新状態のモニタリング、地理空間分析処理、地図やデータの更新、またはメールを利用した通知の送信など、状況判断から意思決定まで、素早く正確に対応できます。



ビッグデータ

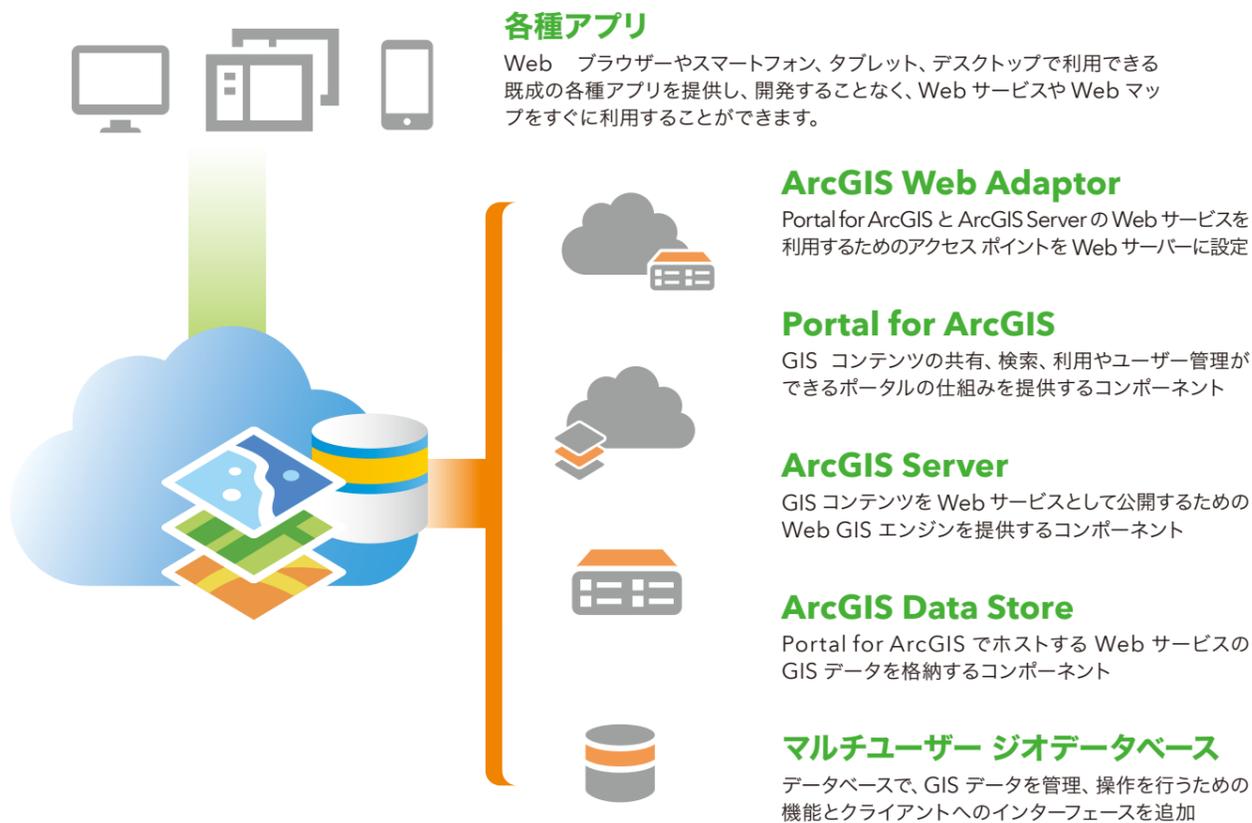
ArcGIS GeoAnalytics Server や ArcGIS Image Server（ラスター解析）を使用することで、複数台のサーバーでの分散処理により、ビッグデータと呼ばれるような大規模なベクター/ラスター GIS データを高速に分析処理することができます。



製品構成

基本機能

ArcGIS Enterprise の基本ライセンスは、組織内の地理空間情報を検索、利用、作成、共有するための Web GIS を構築するためのコンポーネントを提供します。



追加機能

リアルタイム GIS 処理やビッグデータとラスタデータ分散処理機能を提供する ArcGIS Enterprise のオプションサーバーを追加することで、組織の GIS プラットフォームをより強力な空間分析プラットフォームに拡張します。

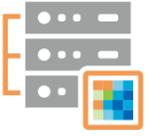


Image Server

複数のモザイクデータセットを利用したイメージ サービスや大規模ラスタデータ配信、分散コンピューティングによる画像解析の仕組みを提供する画像に特化した機能を提供します。



GeoEvent Server

センサーなどのリアルタイムデータやその他外部データを取り込み、空間処理などのプロセスを組み込み、出力まで一連の作業をイベントドリブンで実行する IoT 基盤を提供する機能を提供します。



GeoAnalytics Server

分散コンピューティングのテクノロジーを利用して、大規模なベクターデータを高速に処理することに対応し、大規模データから地理的傾向を取得することを支援する機能を提供します。



Notebook Server

Python Notebook をユーザーに展開して、GIS データだけでなく様々なデータを取り扱い、データ分析を支援する機能を提供します。Advanced ライセンスで arcpy を利用可能

エディション (機能) 別機能比較

機能	Standard	Advanced
空間タイプをサポートするデータベースの使用 ¹	○	○
ジオデータベース管理	○	○
GIS Web サービスの作成と管理	○	○
Web 編集	○	○
イメージ処理と解析	○	○
エクステンションを利用するジオプロセッシング サービス	○	○
高度なジオプロセッシング	○ ²	○
ポータル サイトの構築	○	○
リアルタイム データ処理と監視	○ ³	○ ³
ビッグデータ処理 - ラスタ、イメージ	○ ⁴	○ ⁴
ビッグデータ処理 - ベクター、表	○ ⁵	○ ⁵

1: データベース固有の空間データ型をサポートします。
 2: 高度なジオプロセッシング機能を利用するにはエクステンションが必要です。
 3: ArcGIS GeoEvent Server が必要です。
 4: ArcGIS Image Server が必要です。
 5: ArcGIS GeoAnalytics Server が必要です。

規模別機能比較

機能	ArcGIS Enterprise Workgroup	ArcGIS Enterprise
マルチユーザー ジオデータベースへの最大同時接続数	10	無制限
Web サービスへの最大同時接続数	無制限	無制限
マルチユーザー ジオデータベースの格納容量	10 GB ¹	無制限
利用できるコア数	4 コア	無制限 ²
ArcGIS Enterprise コンポーネントの分散配置	不可 ³	可

1: ArcGIS Enterprise Workgroup には Microsoft SQL Server 2014 Express が同梱されており、データベースの最大容量が合計で 10 GB に制限されています。
 2: ArcGIS Enterprise の基本ライセンスでは、4 コアまでの利用が許可されています。コア数が増える場合は、別途追加ライセンスが必要となります。
 3: ArcGIS Enterprise Workgroup ライセンスでは、すべてのコンポーネントを同一マシンにインストールする必要があります。

エクステンション製品

エクステンション	Standard	Advanced
ArcGIS Spatial Analyst for Server		○
ArcGIS 3D Analyst for Server		○
ArcGIS Network Analyst for Server	○ ¹	○

1: オプション

動作環境

「動作環境一覧」ページから対象製品の動作環境をご確認ください。
<https://www.esri.com/products/all-environments/>